

三河商人道

PART
170

倉内法律事務所

所長・弁護士

倉内 充雄 君



青年部とは 「成長の場」である



【仕事への思い】

小さい頃から弁護士が登場する正義感溢れる小説や映画に興味があり、また自分は組織で働くことには向いていないと思い、個人で独立できる弁護士の道を志しました。大学在学中から昼夜を問わず、時には深夜の警備アルバイトもしながら勉強して、ようやく司法試験に合格。数年の研修期間を経て、岡崎で独立しました。その時には達成感があった反面、一からの独立で不安で一杯でした。

独立後は、不安を払拭するために、がむしゃらに仕事をし、自分の事務所を建てられましたが、今でも不安で一杯です。ただ、不安感を持つからこそ、頑張れると思います。生命保険金の請求裁判や会社の民事再生など、苦勞も多い仕事ですが、皆から頼られることも多く、やりがいを感じています。



【青年部に入会されたきっかけ】

私の出身は碧南で、岡崎で独立したものの当時は知り合いが少なく、東海測量の太田安則先輩に紹介してもらって入会しました。入会当初は太田先輩や白濱先輩によく誘っていただき、北海道の帯広で全国大会にも行きました。夜の札幌を楽しんだり、美味しいカニを食べたり、あれは楽しかったですね。

【思い出に残る青年部活動】

入会して4年目で、研修委員会の委員長をやらせてもらったことですね。当時は磯部亮次先輩が会長の年。ちょうど会社法改正があった頃で、企業にどういった変化をもたらし、特に定款をどう変える必要があるかを、講師としてメンバーの鈴木伸治君や鈴木昭弘君に話してもらい、その後グループで話し合い、実際に各社の定款変更のお手伝いをしました。多くの行政書士のメンバーに手伝ってもらいながらつくった手作り例会で、思い出深いです。

【趣味など】

あんまり大きな声では言っていないんですが、昔から漫画が好きでした。「キングダム」とか「あずみ」とか、好きですね。それから最近は、朝からジムでエアロビやヨガのコースをやってから、スーパー銭湯(楽の湯)に行くのが休日の日課になっています。

【青年部とは・・・】

委員長を経験すると、批判的なことも含めて皆からいろいろなアドバイスをもらえます。自分は仕事柄言ってもらえる機会が少ないので、いい経験になったし、すごく成長にもなりました。ぜひ、声がかかったらトライしてほしいです。



取材担当/
交流委員会

深田賢之、山本創、
佐野真琴、佐藤寿行、
阿讃坊明幸、小出寛之、
伊豫田悠佑、由良隆幸